

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.6

令和3年7月発行

<http://www.i-shinseikai.jp/>



岩手山(8合目)

社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設 「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設 「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設 「みちのく療育園」

〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設 「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666

エコレストランあいのの

〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所 「あさあけの園」

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」
電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826

紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所 「新生ホーム」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380



昨年度から今年度にかけての当センターの業務のキーワードは「コロナ禍の中でどのようにしてこれまでと同じように仕事を行うか」。どの仕事でも同じ思いで取り組まれていると思いますが、当センターの業務の内容は、直接お会いして行うことが多い「相談支援」、家庭訪問、職場訪問、学校訪問等の「訪問支援」、通院同行、見学同行等の「同行支援」、そして「各種会議への参加」等となります。このように当センターの業務は不特定多数の方とお会いする点、そしていろいろな場所を行き来する点が特徴と言えます。これらの支援ニーズはコロナ禍でも変わりなくあります。緊急事態宣言が出された際には同行支援や訪問支援を制限した時期もありましたが、宣言解除後は感染対策に留意しつつ可能な限りこれまでと変わりなく業務を行うよう心掛けました。今後も同じような形で業務を行っていかうと考えていますが、その中で我々相談支援に従事するものが気をつけなければならないことは、「ウイルスの媒介者とならないこと」ということだと考えています。今まで以上に感染症対策に努めつつ、相談者の皆様方のニーズとご期待に応えられるよう業務を進めてまいりたいと思います。

しんせい 所長 田代 拓之



昭和58年の開設から38年が経ちました。授産施設としてスタートした本園は施設入所支援、開設当時の印刷とクリーニングの就労継続支援B型、軽作業や余暇活動を楽しむ生活介護のサービス提供をしています。建物は古くなりましたが、「輝く命」の理念は色あせることなく、職員一同利用者様の声を大切に施設経営に努めています。

今年度から取り組む中長期経営計画の重点目標の一つに「利用する誰もが自分らしく活動できる施設」があります。10歳代から70歳代まで幅広い年齢の方が利用しています。昨年度はコロナ禍、多くの行事が中止や代替えのものになり、入所者の皆様には外出や面会の自粛をお願いし、ご不便をおかけしました。不自由な時間はもうしばらく続きそうですが、これからも利用者様一人一人の声や思いを大切に、皆様の満足度アップと地域ニーズに応えるサービス提供に努めていきます。

2年後には創立40周年を迎えます。これまで支えて下さった地域の皆様やご家族、関係者の皆様に感謝の思いを伝えられるよう、記念事業の検討とその準備にも着手します。

新生園 施設長 稲邊 宣彦



みちのく療育園はこの7月に開設から20年になります。医療型障害児入所施設と療養介護事業所が一体化した施設として、長期入所定員60名と医療型短期入所(空床型)、日中一時支援事業、児童発達支援・生活介護(通所)事業を運営しております。入所者様は盛岡となん支援学校の特別支援教育を受けています。また相談員、医療的コーディネーターを中心に、地域の住民の皆様や行政、学校と協働し、重症心身障害、医療的ケア、発達障害、脳神経疾患など、お一人おひとりに対する専門医療と相談支援事業、交流事業を進めております。

みちのく療育園が掲げる理念は「みんなの幸せのために」です。「みんな」には、重い障害を持った方々とそのご家族はもちろんのこと、利用者様に医療・福祉サービスを提供する私たち職員も含まれます。さまざまな経験を有する職員一人ひとりが、互いに切磋琢磨するなかで、職業人としてのやりがいを感じながら、ワンチームとして地域社会に貢献できる施設運営を目指して参ります。

当園では、新型コロナウイルスによるパンデミックのなかでも、障害児者医療と福祉、保健、教育の事業を継続していくために全力を注いでいます。利用者と保護者の皆様には、直接の面会や診察時間を制限することで、ご不便とストレスをおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。感染予防と利用者・保護者の方々の利便性の向上を図るため、オンラインによる面会など、交流のための整備を進めて参ります。 みちのく療育園 施設長 小山 耕太郎



ワークセンターむろおかは、平成16年に開設し18年目を迎えます。新生園の通所部としてスタートした当初は、歩行困難な方や車いすの方が多く、広く通行しやすく見渡しやすいフロアを利点としていました。

時の流れとともに、ご利用者も様変わりし、今は発達障がいの方など合理的な配慮を要する方が増えています。フロアの改築など対応は難しく、それでも何とか一人ひとりの過ごしやすさに配慮し、様々な工夫をすることで居心地の良い居場所の確保に努めています。

現在は、就労移行事業6名、就労継続支援B型28名、生活介護6名の40名定員の多機能型施設として現員51名で日々活動しています。コロナ禍の影響を受けながらも、それぞれ自分の強みを活かした活気あるワークセンターむろおかを実現しています。

当園ご利用から就職した方も数多く、その方たちの安定した雇用継続のための就労定着支援事業も展開し実績を上げています。

ワークセンターむろおか 施設長 齋藤 賢



新生ホームは、昨年度、紫波町に「第二中島ホーム」を新築しました。併せて、既存の「中島ホーム」を増築整備し、地域ニーズだった女性の利用希望に応じられるよう当法人グループホームの総定員を増やしました。

また、紫波・矢巾の「地域生活支援拠点」の一部機能として、第二中島ホームに「緊急受入」及び「体験利用」を行う専用居室を整備しました。今年度から短期入所事業としてスタートしています。

新生ホームは、平成6年に土橋ホームを開設以来、特に「余暇」と「健康」については、重点的支援として取り組んできました。ところが、昨今の新型コロナウイルス発生により、入居者様も職員も苦悩の日々が続いています。

令和3年度は、どのように「輝く命」を実現するか、健康を第一に考えながら、新生ホームの余暇行事「遊生会」を可能な内容で提供し、コロナ禍においても入居者様が豊かな地域生活を送れるよう職員一同前向きな支援に努めていきたいと思えます。

そして、在宅障がい者のニーズ、福祉を取り巻く社会的な課題等積極的に情報収集を行い、地域における新生ホームの役割を果たしていきたいと考えています。

新生ホーム 所長 佐々木 亮



今年度は、法人の評議員、理事及び監事の改選期です。石亀孝文氏、川村勝弘氏、沼田徳彦氏の三氏が評議員に、秋篠孝一氏が理事に、それぞれ新たに選任されました。また、今期をもって評議員を退任される阿部榮子氏、伊藤盛氏、沼田弘美氏には、永年にわたる功績に対し感謝状が贈呈されました。退任する各氏におかれましては、今後とも相変わらずのご支援をお願いします。

さて、法人本部の朝は、常務理事以下職員全員での「役職員打合わせ」から始まります。各自の業務予定・報告の後は、毎日輪番でのスピーチタイムです。常務理事の順番では、話題提供という形で「職場の教養」という冊子から、その日のコラムを読み上げます。

「人は苦手なことに遭遇した時、そこから目を反らしがちです。しかし、そのまま逃げ続ければ成長は止まってしまいます。逆に目を反らさずに、正面から向き合えば、自身の成長の伸びしろがあることがわかります。職場においても、苦手を自覚し、自身が成長する過程を楽しみましょう。そうした努力から、働き甲斐が生まれ、才能が開花されるのです。」

これは、「職場の教養」6月9日分からの抜粋です。みんなで自分の成長過程を楽しみましょう。

法人本部 事務局長 金子 仁



ご挨拶 ～明るく 楽しく 元気よく～
日頃いただいております皆様方からのご理解とご支援により、就労支援事業、生活介護事業、そして「Caféあさあけ」を通常どおり運営することができておりますことに厚く御礼申し上げます。

当施設の使命は、日中活動の場をとおして様々な困難を抱える方々の地域生活を支えることです。今般のコロナ禍を経験する中で、サービス提供体制を維持することの難しさの一方で、ご本人、ご家族の皆様方からの要請の大きさを改めて感じ、職員一同、安全安心な施設づくりに日々努めているところです。

「あさあけの園」は生まれて37年の歳月を数えます。『明るく 楽しく 元気よく』は、前身である福祉作業所(矢巾町手をつなぐ親の会が運営)の時代から受け継がれてきている目標です。年齢を重ねる方々加えて学校卒業後間もない若い方々もおり、求められるニーズは多様になってきていますが、どの利用者様にもそのようにあってほしいと願いながら福祉サービスを提供しております。

毎日の作業や活動の中で持てる力、個性を発揮することができる利用者様一人一人にとっての「良き居場所」として、地域とともに歩み続ける施設でありたいと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。

あさあけの園 施設長 鈴木 長幸



日頃よりいただいておりますご理解に改めて感謝申し上げます。

当事業所は矢巾町太田の地で法人の理念「輝く命」のもと利用者様の人権の尊重を基本とし、さらには利用者様一人一人の個性を大切にしながら各人が持てる力を十分発揮できるように施設入所支援、生活介護、就労継続支援B型のサービス提供に職員が一丸となり取り組んでいます。

昨年来より続いております、新型コロナウイルスの感染予防対策により園内行事等については軒並み開催方法の変更や規模の縮小、場合によっては中止を余儀なくされています。ただしそのような中においても、利用者様に少しでも多く楽しんでいただけるように創意工夫しながら日々の生活送っていただいております。コロナ禍の今だからこそ「より多くの笑顔」を求めこれからも励んでいきたいと思えます。

今後もこの広報誌「HIKARE」のもと利用者様の躍動ある姿をできる限りお伝えしてまいりますので、ぜひたくさんの方々に見ていただき、さらにはご感想等を当事業所まで届けていただけますようよろしくお願いいたします。

第二新生園 施設長 山内 雄幸



お疲れ様でした 伊東施設長!!

みちのく療育園開設以来20年間施設長として、ご尽力されました伊東施設長が令和3年3月31日付で退任致しました。

後任として、岩手医科大学医学部小児科学講座主任教授の小山耕太郎先生が就任致しました。

前施設長の伊東宗行先生は、引続き名誉園長として当施設のためご活躍いただいております。



小山新施設長 伊東名誉園長



小山新施設長 挨拶

通所スタッフ! ジブリわーるど手作り!!

通所「ぼかぼか」では、県内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止のため、利用制限を強化しています。

その中、せっかくおいでいただいた利用者様が、より一層楽しい気持ちになっていただけるよう休園の間、手作り致しました。

みんな手作り
で〜す!



コロナワクチン接種始まる

4月24日25日に第1回目を、5月15日16日に第2回目の医療従事者向ワクチン接種がみちのく療育園(接種者90名)でも実施されました。幸い大きな混乱もなく、また、副反応が重症化した職員もなく無事終了致しました。今後、当法人新生会グループ内の職員、利用者様(約200名)へ順次接種して行く予定です。





新米相談支援専門員

～「目指すべき道」～

「相談支援専門員になりたい。」

新生会に入職し、入所施設の生活支援員として働いていく中で、地域で困りごとを持つ方々への生活全般のサポートをする相談支援専門員の存在を知りました。日々の業務で培った経験を、地域の困りごとを持った方々の支援に活かしたい。そんな思いから入所施設で働きながら資格を取得させていただき、今年の4月に法人内の異動で「障害者地域生活支援センター しんせい」で相談支援専門員として働き始めました。

目指していた相談支援専門員でしたが、幅広い専門

的な知識の量に驚いております。それは、支援の必要な方へサービス等利用計画を作成し、福祉サービスをつなげることはもちろん、それだけでは補いきれない隙間への対応や、行政、病院、学校等の関係機関との連携などなど。



そしてなにより驚いたのが、電話対応の多さです。相談の電話や関係機関との連絡調整など、沢山のやり取りが必要となります。

ひとつひとつの電話対応に全集中の私ですが、しんせいのスタッフは、電話対応が終わったかと思えば、「〇〇にモニタリングで行ってきます。」帰ってきたかと思えば、「支援会議で〇〇病院に行ってきます。」等、分刻みで業務にあたっております。

そんな上司、先輩職員の働く姿を目のあたりにして、焦りと憧れを感じながら、今の自分にできること、「日々の業務の積み重ね」を意識し、専門職としての土台を作っていきたいと思えます。

相談支援専門員 播摩 光一



笑顔の花が満開でした

4月29日(金)高松の池・公園を散策してきました。

雨予報でしたが、皆さんの気持ちが空に届いたのか、ほとんど雨に当たらず思い思いの時間を過ごすことができました。たくさん動いた後のお弁当は、いつも以上に美味しく感じました。



多機能型事業所 あさあけの園



青空、新緑の中での久々のスポーツ

6月5日(土)県営運動公園にて開催されたスポーツ大会に、当園からは5名の方々が出場。

なんと!!!全員メダルを獲得することが出来ました(^ ^)



令和3年度スタート! 輝く1年になりますように!

第二新生園は、施設入所支援事業39名、生活介護事業68名、就労継続支援B型事業13名の利用者の皆様と共に、新年度をスタートしました。利用者の皆様の笑顔輝く1年になるよう、今年度も様々な活動に取り組んでいきたいと思ひます。

施設入所支援



音楽
活動



園芸活動



誕生
会



お花見で気分転換!



母の日プレゼント作成!



新しい仲間です

就労継続B型

作業



野菜作りスタート!



缶バッジ注文も承っております。

余暇
活動



手作りカルタ大会!



よろしくお願ひします!



障害者支援施設 **新生園**

新生園の印刷科です。



4月から新しい職員が配属になり、科内の雰囲気明るくなっております。職員3名、利用者様6名で印刷業務をこなしております。コロナの影響で仕事が減ってはいますが、学校関係の印刷物が多く、利用者様と職員が力を合わせて頑張っております。

毎年恒例のお花見外出は行えていませんが、利

用者様の楽しみを見つけられるよう支援していきたくと思ひます。

“明るく・楽しく”利用者様と職員と一緒に作業を行っていきたくと思ひています。

みなさん、印刷のことなら印刷科にお気軽にお問ひ合わせ下さい。



コロナ禍のおり、企業様のご理解をいただき、利用者様、職員みんなで頑張りました。

お陰様で昨年度の売上は減少することなく決算を迎えました。感謝！感謝！

最近、ワークセンターでは、新たな試み、変化がみられています。何点かご紹介します。



新型コロナウイルス感染予防の衝立ではありません。



障がい特性から、過敏やこだわり、様々な過ごし辛さを抱え、個々の配慮が必要な方が増えています。視界や音の遮断など、限られたハード面ですが、可能な限りの配慮をしています。

巣ごもりの影響？メタボ傾向が目立っています。(一番は施○長?)

お昼休みにみんなで毎日散歩が日課になってきました。いざ、効果のほどは？



雨天時は室内運動



共同生活援助事業所 新生ホーム



今年の《遊生会》スタート!

新生ホームは、4月から新たに2名の利用者様が入居し31名になりました。また、職員は新任4名を含めた23名の体制でスタートしました。

今年度1回目の『遊生会』を5月のある週末、4ホーム(見前、室岡、中島、第二中島)から利用者様が参加して、お楽しみ会を行いました。

あいにくの天候のため、外でのBBQは断念し、新ホーム第二中島の広い食堂で焼肉・焼きそば・ソーセージ・おにぎり・コーラetc…利用者様大好きメニューのお食事会を実施しました。お代わり続出で大盛況でした。

事前に欲しい物を聞いて用意したプレゼントにも皆さん大喜び!ほんの短い時間でしたが、お楽しみ会を満喫できたようでした。

今年度も、ホームでは遊生会行事として利用者様の余暇支援を行っていきます。





ご利用者及びご家族、職員に対するアンケート結果と、令和2年度までの実績を踏まえ、法人の理念・基本方針を実践するため、中長期経営計画(令和3年度～令和8年度)及び第Ⅵ期中期経営計画(令和3年度～令和5年度)を策定しました。法人の重点目標を4つ掲げ取り組んでまいります。

- 1 良質かつ安心・安全な福祉サービスの提供
- 2 地域福祉の推進
- 3 人材育成と働きがいのある職場づくり
- 4 透明性の高い法人経営と施設運営

【令和2年度 決算報告】

◎貸借対照表(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	823,199,742	流動負債	122,725,417
固定資産	2,547,476,168	固定負債	279,773,492
		負債の部合計	402,498,909
		純資産の部	
		基本金	351,764,846
		国庫補助金等特別積立金	475,600,301
		その他の積立金	230,386,500
		次期繰越活動増減差額	1,910,425,354
		純資産の部合計	2,968,177,001
資産の部合計	3,370,675,910	負債及び純資産の部合計	3,370,675,910

◎事業活動計算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日)(単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,398,229,422
	サービス活動費用	1,306,694,896
	サービス活動増減差額	91,534,526
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	4,056,108
	サービス活動外費用	943,371
	サービス活動外増減差額	3,112,737
経常増減差額		94,647,263
特別増減の部	特別収益計	44,260,775
	特別費用計	46,386,632
	特別増減差額	△2,125,857
当期活動増減差額		92,521,406
繰越増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,846,051,948
	当期末繰越活動増減差額	1,938,573,354
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	22,490,000
	その他の積立金積立額	50,644,000
次期繰越活動増減差額		1,910,419,354

【令和2年度 新生会 苦情・要望 対応状況】

令和2年度、各事業所にお寄せいただいた苦情・要望の総数は、苦情13件、要望17件で昨年度より苦情が2件、要望が4件増加しました。職員の対応に対する苦情や要望が増加していることを真摯に受け止め、職員研修を充実し、より良いサービスの提供ができませんよう取り組んで参ります。

なお、各事業所においては、第三者委員を交えた「苦情解決委員会」を原則年2回開催しています。

種類	件数	職員の対応	サービスの内容	施設の設備・環境	説明・情報提供	その他
苦情	13	6	1	0	1	5
要望	17	3	10	2	2	0

※詳細に関しましては、新生会ホームページをご覧ください。

HIKARE ~光れ~ インフォメーション

café あさあけ 期間限定商品のお知らせ



夏野菜の完熟トマトカレーパン
¥170

野菜の旨味が溶け出したカレーとチーズがベストマッチ♡♡

この他にもたくさんの焼き立てパンをご用意してお待ちしております

編集後記

7月の花は？と聞かれたら何を思い浮かべますか？ひまわり、アサガオ、ハイビスカス、ダリア、その他たくさんの花がありますね。小学校の夏休みにはアサガオ観察がありました。校舎の花壇にはひまわりを植えて生長を見守りました。366日の誕生花というのがあります。外を歩けば道端には野花が咲いていますね。このように花は常に身近に存在しています。花は色形匂いとそれぞれ違います。花には気持ちをリセットさせる不思議な力を持っていると私は思っています。時折、自然に咲く花に目を向けてみてはいかがでしょうか。何かを感じるができるかもしれません。また、種類ごとに花言葉があるので、自分の誕生花とその花言葉を調べてみてはいかがでしょうか。ちなみに私の誕生花はモンステラ、ゼフィランサス、シュウメイギク、でした。なかなか聞かない花名でした。

ワンコインイベント

日替わりランチ 通常800円~900円(税込)
→500円(税込)になるお得デー
毎月・第4木曜日の感謝デー以外でも！
日替わりランチをワンコインで食べられる日がありますよ！

2021年	△ご注文時に自己申告をお願いいたします△
4/29(木)	昭和の日 → 昭和生まれの方(32歳以上)限定 ※注文時に「昭和生まれです」と伝えてください
5/9(日)	母の日 → お母さん限定 ※注文時に「母です」と伝えてください
6/20(日)	父の日 → お父さん限定 ※注文時に「父です」と伝えてください
7/7(水)	七夕 → 星の形・柄の物 持参の方限定 ※注文時に★型、★柄の物(服や雑貨、何でも)を指し名前に「や」「ま」がつく方限定
8/8(日)	山の日 → ※注文時に名前のわかるものを提示
9/9(木)	救急の日 → ばんどうこう 持参の方限定 ※注文時にばんどうこうを提示
10/1(金)	メガネの日 → メガネorサングラス 持参の方限定 ※注文時に装着、提示
11/3(水)	文化の日 → 文芸書 持参の方限定 ※注文時に小冊子や絵本などを提示
12/0(○)	最後の営業日 ※スタッフに確認 年明け営業開始日を確認した方限定 ※注文時に「いつから営業ですか」とご確認ください
2022年	
1/0(○)	最初の営業日 ※スタッフに確認 年賀状 持参の方限定 ※注文時に年賀状を提示
2/11(金)	建国記念日 → 和柄の物 持参の方限定 ※注文時に和柄の物(服や雑貨、何でも)を提示
3/3(木)	ひば祭り → 人形orフィギュア 持参の方限定 ※注文時に人形やフィギュアなどを提示

社会福祉法人 新生会 エコレストランあいのの
住所 茨城県中野市大字間野々12-50
営業時間 11:00~16:30(ラストオーダー 16:00)
TEL 019-681-0304 FAX 019-681-0306

当番 〇月△日 せいちゃん